

# 稲わら等の有効利用に係る 取組の現状、今後の予定

## <岡山県環境管理課>

- ①稲わら分解促進剤の購入補助
- ②野焼き率調査
- ③農家へのアンケート調査

# ① 稲わら分解促進剤の購入補助

## 目的

稲わらのすき込み時に散布する分解促進材の購入費を補助し、稲わらの野焼きから有効利用への転換を支援

## 令和5年度の補助内容

- [対象者] 岡山市南区及び早島町の全域並びに倉敷市の一部(茶屋町周辺)地域内の圃場に水稻の作付を行った農家
- [補助金額] 購入費の1/2又は補助対象土地の面積1m<sup>2</sup>あたり2.4円のいずれか低い額
- [対象資材] 石灰窒素など10種類の資材
- [申請期間] 令和5年9月1日～12月26日

# ① 稲わら分解促進剤の購入補助



岡山市南区、早島町、倉敷市の一部の水稲農家のみなさまへ

令和  
5  
年度版

## “稲わら分解促進剤” 購入補助のお知らせ

### 稲わら有効利用促進事業補助金

岡山県では、晴れの国ブルースカイ事業で稲わらの有効活用を推進しています。補助事業として、稲わらのすき込みに使用する資材の購入を支援しますので、ご利用ください。

分解促進剤の  
購入費用  
最大

**50%**を補助  
します。

**申請書の様式が変わりました!**

#### 補助金の対象者・要件

岡山市南区、早島町及び倉敷市の一部 ※裏面参照  
内のほ場で稲わらを焼かずにすき込む方

#### 申請期間

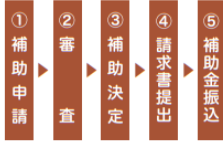
令和5年9月1日から  
同年**12月26日**まで  
(消印有効)

#### 補助金の上限

次のうち、いずれか少ない額  
①稲わら分解促進剤の購入費の50%  
②補助対象土地の面積1㎡あたり2.4円  
(100円未満の端数は切捨て)

#### 補助金の手続き

申請から振込までの流れ



#### 必要な書類

- 申請書(様式第1号) ●誓約書
  - 補助対象経費に係る領収書の写し
- 【申請書の配布場所】
- ・県庁環境管理課
  - ・岡山市農林水産課
  - ・岡山市南区役所農林水産振興課
  - ・岡山市南区役所農林水産振興課
  - ・早島町建設農林課
  - ・倉敷市農林水産課
  - ・倉敷市茶屋町支所産業建設係
- 【県HPからダウンロード】 → → → → →

**注意**



提出先  
(原則として郵送)

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6  
岡山県庁 環境管理課

### 補助対象となる稲わら分解促進剤の一覧

名 称	
石灰窒素	豊土サングリーン(追肥用)
アグリ革命	わらゴールド
アグリ革命アクア	ワラクサール
酵素・で・くさ〜る	ワラクサール EX
豊土サングリーン(元肥用)	ワラ分解キング

### よくある質問と回答

質 問	回 答
補助の対象土地は?	岡山市の南区、早島町の全域と倉敷市の一部のうち、令和5年度に水稲の作付を行ったほ場です。
補助の対象者は?	補助対象土地で稲作を行う方が対象です。(お住まいの地域は関係ありません。)
補助の要件は?	稲わらを焼却処理せず、補助を受けた資材を使用し、ほ場にすき込むことが必要です。(すき込みは申請後でも構いません。)
補助の対象経費は?	稲わら分解促進剤の購入費です。なお、令和5年度に支払いを行ったものに限りです。
複数の申請は可能?	複数の土地をお持ちの方が、土地ごとに複数の申請をすることは可能です。ただし、同一の土地について、複数回の申請をすることはできません。
仮に他に補助金があった場合、併用は?	本補助事業で申請する稲わら分解促進剤について、他の補助金との併用はできません。本補助事業で申請しない農業用資材(肥料等)について、他の補助金を申請する場合は、本補助では併用にあたりません。

※倉敷市は以下の地域が対象です。

倉敷市茶屋町、茶屋町早沖、藤戸町天城、藤戸町藤戸、天城台、林、曾原、木見、福江、尾原、串田、粒江、粒江団地、粒浦、東粒浦、黒石、八軒屋、羽島、二日市、加須山、倉敷ハイツ、有城、亀山、帯高、五日市、中帯江、西田、早高、高須賀



稲わらは貴重な資源です。  
土づくりのために稲わらを焼かずに有効活用し、  
環境にも人にもやさしい農業を継続しませんか?

申請書提出・  
お問い合わせは

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6  
岡山県 環境文化部 環境管理課 大気保全班  
TEL 086-226-7302

この事業は岡山県農業産物検査所が実施しています。

# ① 稲わら分解促進剤の購入補助

## 令和5年度の補助実績

[補助件数] 234件（R4の実績は213件）

- [ 特徴 ]
- ・ 令和4年度から補助件数は増加
  - ・ R2～R4に申請があった314名のうち148名(47%)からは申請がなかった。
  - ・ このうち102名(69%)は、過去に1回だけ申請があり、2回目以降の申請がなかった。
- すき込みが定着していない？

## 令和6年度について

令和6年度も令和5年度と同様の内容で実施(申請期間は9/2～12/25)

## ②野焼き率調査

### 目的

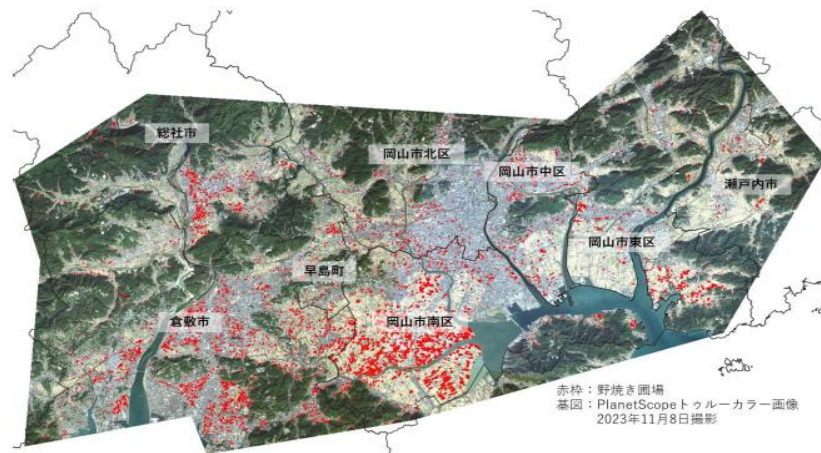
稲わらの処理状況の現状を客観的に把握するとともに、晴れの国ブルースカイ事業開始前の状況からの変化を確認する。

### 調査方法

**[解析方法]** 野焼きされた圃場を衛星画像により判定する。

**[調査時期]** 11月

**[調査地域]** 岡山市、倉敷市、早島町、総社市、瀬戸内市



## ②野焼き率調査

### 結果

地域	事業	水田面積 (ha)	事業開始前		事業開始後		
			R1		R5		<参考> R2~R4
			野焼き面積 (ha)	野焼き率 (%)	野焼き面積 (ha)	野焼き率 (%)	野焼き率 (%)
① 岡山市南区 早島町	重点啓発 一般啓発 補助 (R2~)	4,543	1,400	30.8	721	15.9	15.5~17.3
② 倉敷市の一部地域 (茶屋町周辺地域)	重点啓発 一般啓発 補助 (R4~)	1,111	141	12.7	82	7.4	5.6~10.9
③ 岡山市(南区除く) 倉敷市(②を除く)	重点啓発 一般啓発	8,751	560	6.4	454	5.2	3.3~6.7
④ 総社市 瀬戸内市	一般啓発	3,631	159	4.4	96	2.6	1.4~4.0
全体		18,037	2,259	12.5	1,353	7.5	6.6~8.7

令和6年度も令和5年度と同様の方法で調査予定

R1から  
4割減

# ③農家へのアンケート

## 目的

稲わらのすき込みの定着状況の確認・すき込み促進に資する情報の収集

## 調査

調査票(抜粋)

**[調査方法]** R2～R5に稲わら分解促進剤の購入補助を行った農家に調査票を送付

**[調査時期]** 令和6年2月

**[対象者数]** 368名

**[回答者数]** 273名 (回答率：74.2%)


※R5稲作未実施と回答があった2名は除いている。

稲わらのすき込みに関するアンケート調査票 (R4以前のみ補助利用者 (R5補助利用なし))

名前		電話番号	-	-
----	--	------	---	---

●10分程度で終わりますので、御協力をお願いします！！

【補足事項】  
回答いただいた内容について、集計した結果等（個人が特定されない形）を公表等する場合や、県から追加で確認の連絡をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。



<作付状況>  
Q1 令和5年4月～令和6年1月における水稲等の作付面積と水稲の品種をご記入ください。

作付状況	作付面積	水稲の品種（主なもの）
① 稲作【単作・二毛作ともに】		反
② ①のうち二毛作【稲・麦】		反
③ ①のうち二毛作【稲・その他（ ）】		反

Q2 水稲を作付けしているほ場の所在地（複数ある場合は最も多くのほ場がある所在地）として当てはまるもの1つに記してください。

①  岡山市南区 ②  岡山市（南区以外） ③  倉敷市 ④  早島町  
⑤  その他（①～④以外）

<稲わらの処理>  
Q3 令和5年に水稲を作付けしたほ場の稲わらの処理状況として当てはまるものすべてに記して、その面積もご記入ください。

① すき込み【稲わら分解促進剤の散布あり】	→	<input type="checkbox"/>	反
② すき込み【稲わら分解促進剤の散布なし】	→	<input type="checkbox"/>	反
③ 焼却	→	<input type="checkbox"/>	反
④ その他 <input type="text"/>	→	<input type="checkbox"/>	反

<稲わらのすき込み> ※Q3で①、②を回答した方はQ4-1～4-6の回答をお願いします。

Q4-1 Q3で「①すき込み【稲わら分解促進剤の散布あり】」と回答した方は、別添チラシの補助対象でしたが、令和5年に補助を申請しなかった理由として当てはまるものに記してください。（複数回答可）

① 他の補助金を利用した	<input type="text"/>	補助金名記入欄
② 令和5年3月31日以前に稲わら分解促進剤を購入（支払い）していた	<input type="checkbox"/>	
③ 補助申請書の作成等が面倒だった	<input type="checkbox"/>	
④ 令和5年も稲わら分解促進剤の補助があることを知らなかった	<input type="checkbox"/>	
⑤ その他	<input type="text"/>	

【裏面（2ページ目）】に続きます。

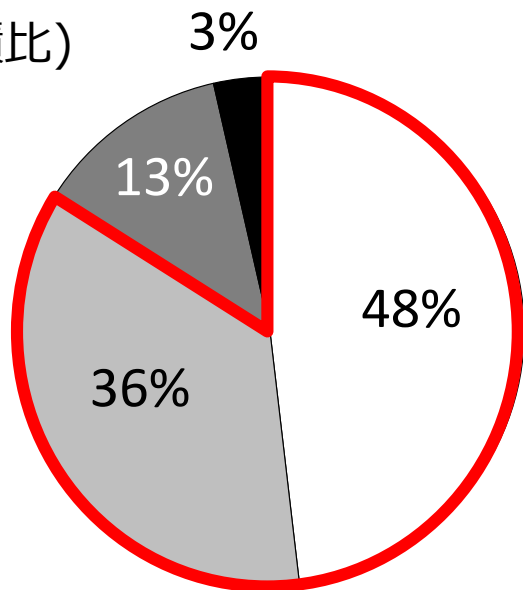
1  岡山県農林部  岡山県農林部

### ③農家へのアンケート

#### 稲わらの処理状況

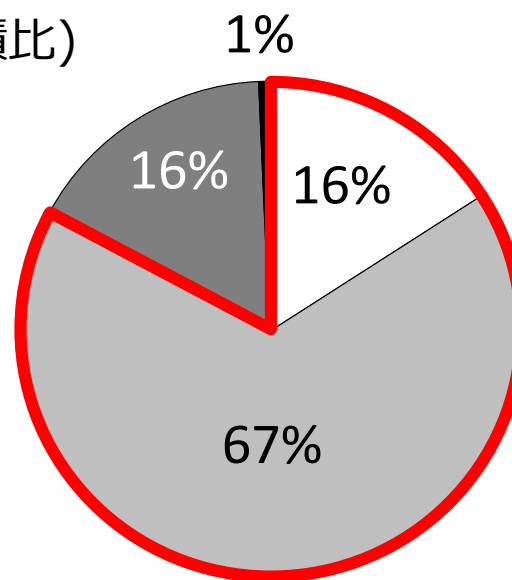
<全回答者(273名・9947.2反)>

(面積比)



<R5に補助申請がなかった者(73名・3142.8反)>

(面積比)



8割以上が  
すき込み

□ すき込み【稲わら分解促進剤の散布あり】 ■ すき込み【稲わら分解促進剤の散布なし】 ■ 焼却 ■ その他(稲わら収集)

R5に補助申請がなかったほ場でも多くのほ場ですき込みが行われている



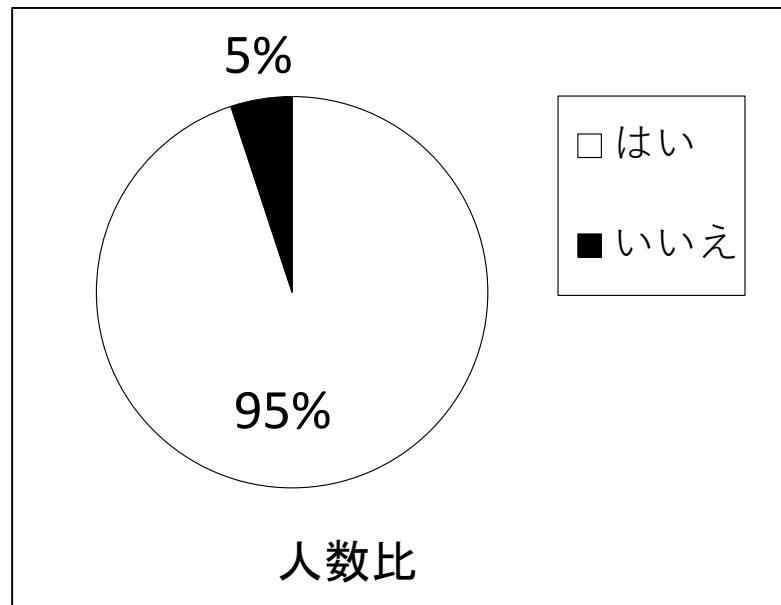
### ③農家へのアンケート

稲わらのすき込みを継続したいか (R5すき込み実施者対象)

項目	人数(人)	人数比(%)
回答総数	237	-
① はい	225	<b>94.9</b>
② いいえ	12	5.1

※無回答者(2名)は除いて集計

R5にすき込み実施農家のほとんどが  
すき込みを継続する方針



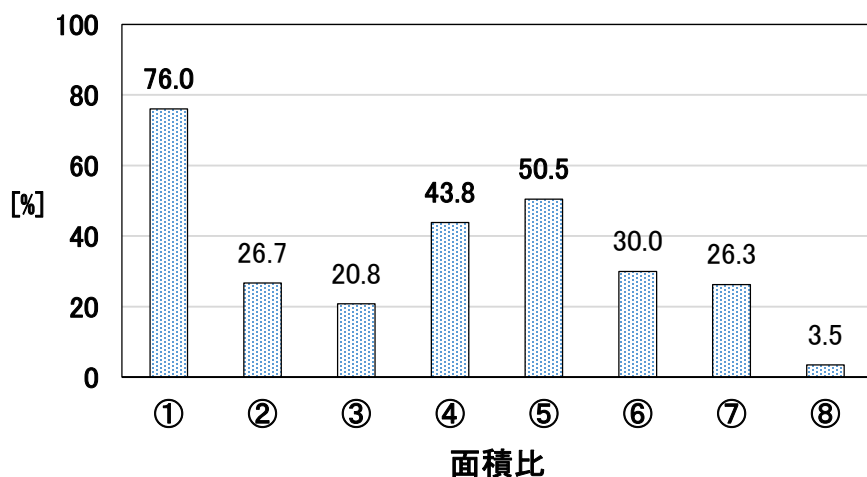
すき込みの定着は進んでいる

# ③農家へのアンケート

## すき込みを継続したい理由（=メリット） （すき込み継続方針の者対象）

※複数回答可

項目	人数(人)	面積(反)	面積比(%)
回答総数	225	7722.4	-
① 土づくりになる	194	5872.8	<b>76.0</b>
② 焼却よりも天候(雨、風等)の影響を受けにくく作業スケジュールが立てやすい	55	2058.7	26.7
③ 焼却よりも作業の手間が減る	33	1608.5	20.8
④ 火を扱わないので、作業が安全になる	119	3382.6	<b>43.8</b>
⑤ 焼却時の煙による苦情を心配しなくてもよい	138	3899.8	<b>50.5</b>
⑥ 次作(麦・稲等)に良い効果がある	52	2315.3	30.0
⑦ 稲わら分解促進剤を施用することで、その他の肥料の施用量が減る	58	2028.2	26.3
⑧ その他	18	269.8	3.5



### すき込みのメリット

- No.1 土づくり
- No.2 煙の苦情の心配減
- No.3 作業が安全

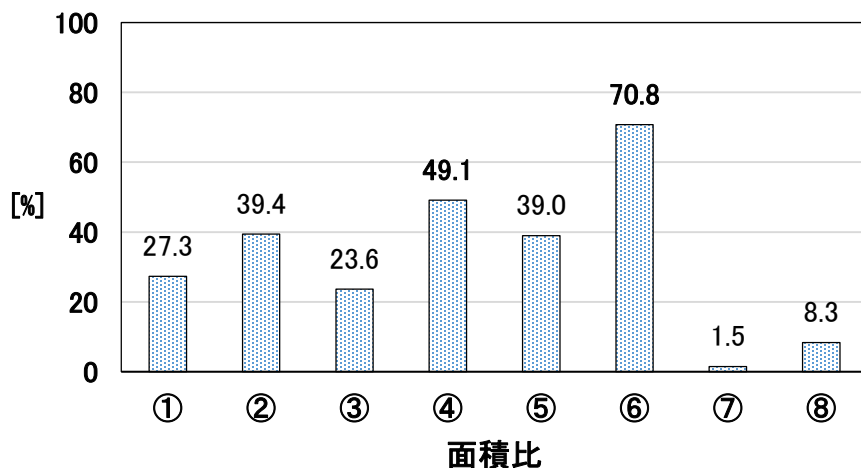
→ 今後も農家にPR

# ③農家へのアンケート

## 稲わらを焼却した理由（=すき込みのデメリット・課題） （R5焼却実施者対象）

項目	人数(人)	面積(反)	面積比(%)
回答総数	44	1294.9	-
① 長幹品種なので、すき込みができないと思った	5	354.0	27.3
② 稲わらの量が例年よりも多く、すき込みができないと思った	16	510.0	39.4
③ 次作（麦等）の作業までに時間がなかった	8	306.0	23.6
④ 焼却のほうが手間がかからないと思った	16	635.9	49.1
⑤ 農業資材高騰等により経費面で稲わら分解促進剤の購入を控えた	18	504.7	39.0
⑥ 次作(麦・稲等)への影響が心配（出た）	23	916.3	70.8
⑦ 令和5年も稲わら分解促進剤の補助があることを知らなかった	1	19.0	1.5
⑧ その他	4	107.8	8.3

※複数回答可



**すき込みのデメリット・課題**  
 No.1 次作への影響  
 No.2 手間

### ③農家へのアンケート

農家が感じるすき込みのデメリット・課題

次作への影響(麦作の発芽率等に不安がある)

すき込みの手間(焼却の方が手間がかからない)



- ・ R4制作の動画※を活用した啓発の継続

※次の麦作への影響を緩和する方法やすき込み回数を減らす方法にも触れている

- ・ 県農林水産総合センターですき込み方法に関する研究実施中  
→ 研究成果等を活用して啓発につなげる
- ・ すき込み以外の稲わら有効利用法(飼料化等)でも解決に

★その他にも有益な情報や取組があればご提供ください。